

基礎泌尿器学

- 科目到達目標: 1) 泌尿器系の発生と構造を説明できる。
 2) 腎臓の機能とその調節について説明できる。
 3) 蓄排尿の機序を説明できる。
 4) 尿路に働く薬の薬理作用を説明できる
 5) 泌尿器疾患の病理を説明できる。

科目責任者(所属): 松尾 聡(適応生理学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/8(水)	1	111	泌尿器系(腎臓)の構造	椋田 崇生	解剖学	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配・発生を説明できる。	腎臓、尿管、膀胱、尿道、腹膜後器官、腎動静脈、交感・副交感神経、陰部神経、前腎、中腎、後腎
2	6/8(水)	2	111	泌尿器系(腎臓)の構造	椋田 崇生	解剖学	腎臓のネフロン各部の構造と機能を概説できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位尿細管、ヘンレのループ、遠位尿細管、集合管、糸球体傍装置
3	6/10(金)	1	111	体液と電解質	松尾 聡	適応生理学	体液の量と組成・浸透圧について成人と小児を区別して説明できる。 水・電解質の調節機構を概説できる。	体液、細胞外液、細胞内液、浸透圧、視床下部、ADH
4	6/10(金)	2	111	酸塩基平衡, 腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	酸塩基平衡の調節機構を概説できる。腎機能の全体像を概説できる。	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ、呼吸性調節、腎性調節、緩衝作用、重炭酸系、アシドーシス、アルカローシス、尿の生成
5	6/15(水)	1	111	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	腎糸球体の濾過機序を説明できる。	糸球体濾過量、腎血漿流量、濾過率、有効濾過圧、原尿、クリアランス
6	6/15(水)	2	111	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	尿細管各部の再吸収・分泌機構と尿濃縮機序を説明できる。	再吸収、分泌、最大輸送量、対向流、アルドステロン、ADH
7	6/22(水)	1	111	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序	松尾 聡	適応生理学	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序を説明できる。	尿管、膀胱、尿道、蓄尿、排尿
8	6/22(水)	2	111	膀胱・尿道・前立腺の機能異常	本田 正史	腎泌尿器学	神経因性膀胱と下部尿路症の概要を理解する。	神経因性膀胱、前立腺肥大症、下部尿路症
9	6/29(水)	1	111	腎機能の調節	富田 修平	分子薬理学	腎に作用するホルモン・血管作動物質の作用を説明できる。	バゾプレッシン、アンギオテンシン、レニン、アルドステロン
10	6/29(水)	2	111	膀胱・前立腺の薬理	富田 修平	分子薬理学	排尿に関与する薬を理解する。	抗コリン薬、 α ブロッカー、コリンエステラーゼ阻害薬、 β 刺激薬
11	7/6(水)	3	組織系	組織実習	海藤 俊行	解剖学	腎臓の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位・遠位尿細管、ヘンレのループ、集合管、糸球体傍装置
12	7/6(水)	4	組織系	組織実習	海藤 俊行	解剖学	尿管、膀胱、尿道の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	移行上皮、粘膜固有層、筋層、外膜

教育グランドデザインとの関連: 2, 3, 4, 5

学位授与の方針との関連: 1, 2, 3

評価: 定期試験100%

定期試験: 7月21日(火)1時限